



五重塔

重要文化財 五重塔

建立／江戸初期 寛永21年(1644)

本尊／大日如来

寛永21年(1644)の建立であり、総高は36.18メートル。東寺の五重塔と同様に、上層から下層にかけて、各層の幅にあまり差が見られない姿が特徴的である。

初重正面には、大日如来を意味する額が懸けられ、内部には大日如来、その四方にも仏が安置される。また中央に心柱を、その心柱を囲むように四本の天柱が塔を支えている。さらに柱や壁面には、仏や真言八祖等が描かれる。

※心柱=仏塔などの中に立てる柱。

※天柱=天井が落ちないように支える柱。

重要文化遺産

五重塔

建于／江戸初期 寛永21年(1644)

正尊／大日如来

建于寛永21年(1644)，塔高36.18米。与东寺的五重塔一样，由上而下各层塔高基本没有差别为此塔的特征。

塔首层正面悬挂有象征大日如来佛的匾额，内部则安置有大日如来像，周围有其他佛像。塔的心柱(中心柱)四周，有四根被称为天柱的塔柱支撑着塔身。此外，塔柱与墙面土刻画有佛像及真言八祖像。

※心柱=立于佛塔等建筑中心位置的支柱。

※天柱=支撑整个塔顶的支柱。

Important Cultural Property

Five-storied Pagoda

Erection

21st year of Kanei era (1644), early Edo period

Main deity

Dainichi Nyorai

This pagoda was constructed in the 21st year of the Kanei era (1644). It is 36.18 meters high and just like pagoda of To-ji Temple, from the top to the basement, the particularity is that we can see almost no difference in the width.

There is a frame representing and meaning the main deity, Dainichi Nyorai in the main space, in front of the first floor. The statue of Dainichi Nyorai and other Buddhist statues are enshrined here. The massive pagoda is supported by the Shin-bashira main pillar in the center which is surrounded by the four Tenchu pillars. Painting of Buddha and Shingon Hasso (eight important deities of the Shingon sect) decorate the pillars and walls.

Shin-bashira: a main pillar set in the center of the building.

Tenchu: a pillar which supports ceiling.

중요문화재
五重塔
고쥬노토우

건립: 에도 초기 칸에이21년(1644)

본존: 다이니치 놀라이(大日如来)

칸에이21년(1644)에 건립되어, 총 높이는 36.18미터이다. 토지(東寺) 절의 오층탑과 같이 각 층의 폭의 차이가 많이 보이지 않는 모양이 특징적이다.

정면에는 다이니치 놀라이(大日如来)를 의미하는 신도가 현납한 액자를 걸어 두는 당이 있고, 내부에는 다이니치 놀라이, 그 사방에도 불상이 안치되어 있다. 또한 중앙에는 신바시라(心柱)가 있고 그 신바시라를 에워싸는 것처럼 4개의 텐츄(天柱)가 탑을 지지하고 있다. 게다가 기둥이나 벽면에는 부처나 신콘학소(真言八祖) 등이 그려져 있다.

※신바시라(心柱)= 불탑등의 중심에 세워져있는 기둥.

※텐츄(天柱)= 천장이 무너지지 않도록 받쳐주는 기둥.







国宝 金堂

移築／江戸初期 寛永年間(1624~44)

本尊／阿弥陀三尊

仁和寺の本堂。現在の金堂は慶長年間(1596~1615)造営
の内裏紫宸殿を寛永年間(1624~44)に移築したもの。当時の
宮殿建築を伝える現存最古の紫宸殿として国宝に指定されて
いる。

堂内には、本尊である阿弥陀三尊像や、四天王像などが安置
されている。

※紫宸殿=御所の中心的建物。

※宮殿建築=天皇が使用する建物の総称。

国宝 金堂

移築／江戸初期 寛永年間(1624-44)
正尊／阿弥陀三尊

仁和寺正殿。現今の金堂为寛永年间(1624-44)将原本建造于庆长
年间(1596-1615)的内里(皇宫)紫宸殿移筑至此而成。该堂作为
现存最古老的紫宸殿体现了当时宫殿建筑的特色，被指定为国宝。
堂内安置有正尊阿弥陀三尊像，四大天王像等。

※紫宸殿=皇宫的中心建筑物。
※宫殿建筑=天皇御用建筑物的总称。

National Treasure Kon-do

Reconstruction in a new location
Kanei era (1624-44), early Edo period

Main deity
Amida Sanzon

Kon-do is the main hall of the Ninna-ji Temple. Originally, the
structure of the present hall was a part of Dairi Shishin-den construc-
ted in the Keicho era (1596-1615) and was relocated to the present
site in the Kanei era (1624-44). It is designated as National Treasure
as Japan's oldest existing example of Shishin-den architecture which
remains Kyuden Kenchiku in those days.

The main deity of the temple, Amida Sanzon and other important
Buddhist statues including the statue of Shiten-no are enshrined in
the hall.

Shishin-den: one of the main architectures in the Imperial Palace.

Kyuden Kenchiku: a collective term of the imperial style buildings used by emperors.

국보 금당 콘도우

이축 : 에도 초기 칸에이 년간(1624-44)
본존 : 아미다 삼존

닌나지의 본당이다. 현재의 콘도우는 게이초 년간(1596-1615)에
조영, 다이리시신덴(内裏紫宸殿)을 칸에이 년간(1624-44)에 이
축한 것이다. 당시의 큐덴겐치쿠(宮殿建築)에 대해 말해주는 현존
하는 가장 오래된 시신덴(紫宸殿)으로 국보로 지정이 되어있다.
당내에는 본존인 아미다 삼존상이나 사천왕상 등이 안치되어있다.

※ 시신덴(紫宸殿)= 어소의 중심적 건물.

※ 큐덴겐치쿠(宮殿建築)= 천왕이 사용하는 건물의 종칭.









不動明王

水桶不動堂

木桶不動堂



不動明王

水樹不動堂

常公樹石

この水に
まかせ







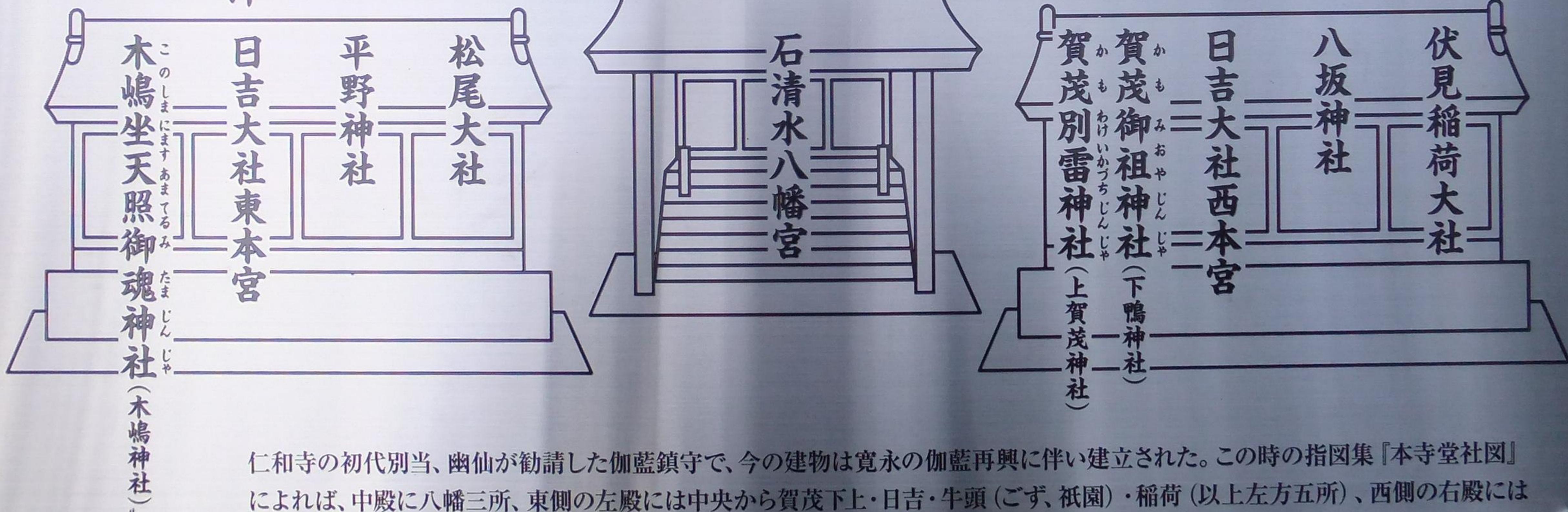


重要文化財 九所明神

稻荷大明神
牛頭天王
日吉大明神
賀茂下上
八幡三所
石清水八幡宮

小日吉大明神
木野嶋天神
松尾大明神
平野大明神
木嶋坐天照御魂神社(木嶋神社)

日吉大社東本宮
平野神社
松尾大社



仁和寺の初代別当、幽仙が勧請した伽藍鎮守で、今の建物は寛永の伽藍再興に伴い建立された。この時の指図集『本寺堂社図』によれば、中殿に八幡三所、東側の左殿には中央から賀茂下上・日吉・牛頭(ごず、祇園)・稻荷(以上左方五所)、西側の右殿には同じく松尾・平野・小日吉・木野嶋(以上右方四所)、計9座の神々を祀っている。



重要文化財
鎮守九所明神

仁和
天保
九
大正
昭和
平成
令和



